

令和7年度さくら市市民活動助成金交付決定団体一覧

No.	申請部門	団体名	事業の名称	交付決定額(円)	事業の概要
1	いきいきまちづくり部門	Jr.ウィンドハーモニーうじえ	子どもたちが主役！さくら市小中学生のための吹奏楽推進事業	300,000	さくら市の小中学生の吹奏楽の課外活動を発展させ、初心者の方の指導体制の強化、新規楽器の確保、レパートリーの拡充と演奏のスキルアップ、他団体との交流などを新たに盛り込む。そして年間の定期練習と市民イベント・コンサートの出演、楽器体験会と吹奏楽フェスティバルの開催を通して、子どもたちを主役にさくら市の文化振興をいっそう図り、世代間交流や国際交流をも実現しながら、生き生きとしたまちづくりを継続して行う。
2	いきいきまちづくり部門	氏家喜連川歴史文化研究会	ふるさとの歴史文化を学び、次代に継承する事業	235,000	さくら市内には誇り得る豊かな歴史文化遺産がある。喜連川文書や渡辺清絵日記、お丸山や勝山城跡、奥州街道や阿久津河岸跡などの交通史料、牧野牧陵や荒井寛方の作品等々である。これら地域の歴史文化についての学習会を、さくら市ミュージアムと協働して講演会・講座・見学会など多様なかたちで開催し、誰もが自由に参加する機会を提供する。
3	いきいきまちづくり部門	山の音楽団	地域部活動「山の吹奏楽部2025」	300,000	さくら市及び栃木県出身の音楽講師を活用(地域の人材活用)し、楽器の正しい扱い方・音楽の楽しみ方をレッスンすることによって、学校部活動の基礎力の向上・地域部活動として学校や年代の枠を超えた新たなコミュニティの構築を行う。
4	いきいきまちづくり部門	AmiRosaプラス	アミローザフットサルスクール	300,000	フットボールを体験し興味を持ってもらうことによるフットボール人口の増加を目的とし、チームではなかなか習得が難しい足元の技術向上や、自分で考えて行動する力を育成し社会でも体現できるように、幼児や児童のためのフットサル教室を行う。また、ドローンでの練習風景を撮影し上空の映像を取り入れることで、子どもたちのポジショニングや動き方などを分かりやすく見て学べるように導入した。
5	いきいきまちづくり部門	さくらスマイルスターズFDK	障がい者スポーツの普及と競技者育成活動	288,000	障がい者の方々やスポーツを通じて、競技性、レクリエーション性に視点を置き、障がいのある人や関係者・地域の方々との交流を行い普及活動を行う。各種競技者を育成し社会参加につなげる。ポッチャや卓球バレー、フライングディスクの体験会を月1回実施する。
6	いきいきまちづくり部門	みつばちプロジェクト	みつばちプロジェクト	300,000	イベントや活動の依頼があった際に依頼先からの要望を聞き、その内容に合ったプログラムを作成する。依頼のあった団体等が行う催しに、みつばちプロジェクトのメンバーがプログラムの提供をしたり、得意とする団体とコラボイベントの協力をする。
7	いきいきまちづくり部門	さくらジャックインザボックス実行委員会	誰にでも観てもらえるバリアフリーなイベント開催	300,000	さくら市をアピールする代表的なアイドルを擁し、一時的にはアーティストパフォーマンスを以て音楽的要素で魅力を発信する。次いで複数の関わりのある市外県外からのアイドルやミュージシャンを招待し、外から見たさくら市の魅力についても発信してもらう。また集い合った出演者に協力してもらい、市内の美味しいものの紹介実演を通し市内外に独自PRして販促につなげていく。